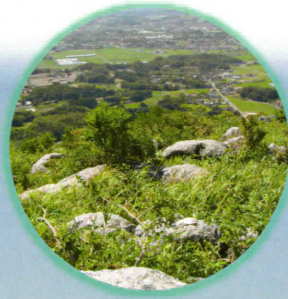


# 第2次

# 田川市環境基本計画



みんなで創ろうや

胸張れる

田川（たが環）

平成30年3月

田川市



## (2) 市民・事業者の取り組み

以下の様に「生活環境の保全」における市民・事業者の取り組みを示します。

実施主体	取り組み
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川愛護デーや遠賀川水系、彦山川水系の水質浄化等に関わるイベント等に参加しましょう。</li> <li>・環境に優しい洗剤を使用しましょう。</li> <li>・野焼き、騒音など近隣に影響しないように配慮しましょう。</li> <li>・し尿くみ取りや単独浄化槽から合併浄化槽へ転換しましょう。</li> <li>・浄化槽を適切に管理しましょう。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場や工場の排水は適正に処理しましょう。</li> <li>・事業活動が地域環境(水質、悪臭、騒音・振動など)に影響しないよう配慮しましょう。</li> <li>・し尿くみ取りや単独浄化槽から合併浄化槽へ転換しましょう。</li> <li>・浄化槽を適切に管理しましょう。</li> </ul>

## (3) 進捗指標と数値目標

以下の様に進捗指標と目標を示します。

進捗指標	現況値		目標値		備考
	現況年度	現況年度	目標年度	目標年度	
大気測定局の二酸化硫黄濃度、二酸化窒素濃度	環境基準以下	2015 (平成27) 年度	環境基準以下	2028 (平成40) 年度	現況値:公害関係測定結果(福岡県)
田川市及び周辺河川の水質(BOD)濃度適合率	100%	2016 (平成28) 年度	100%	2028 (平成40) 年度	現況値:平成28年の遠賀川水系水質調査結果
大気汚染、悪臭の公害苦情件数	31件	2016 (平成28) 年度	20件以下	2028 (平成40) 年度	現況値:環境対策課資料

## 2 資源循環型まちづくり

### (1) 市の取り組み

#### 1) ごみの減量

##### ① 一般廃棄物処理基本計画の見直し

- 分別の見直し、処理施設の設備改善等に応じ、適宜「一般廃棄物処理基本計画」の内容を見直します。
- 田川市ごみ減量化・資源化推進検討委員会で、ごみ減量化・資源化の施策について議論を行います。
- 8市町村で建設する新しいし尿処理施設は2020(平成32)年度の稼働を目標に、ごみ処理施設は2022(平成34)年度の稼働を目標に事業を進めます。





## ② ごみの分別の普及・啓発

- ごみの分別の普及・啓発を推進し、ごみの適正処理及びごみ減量化に取り組む市民意識を高めます。

## ③ 3Rの普及・啓発

- これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型のライフスタイルを見直すため、限られた資源を無駄にせず、「もったいない」という価値観を大事にして、まずリデュース※<sup>1</sup>、リユース※<sup>2</sup>を優先し、それでも残るものについてリサイクルするという概念の普及・啓発に努めます。

## ④ 食品ロス削減の促進

- 「食品ロス」の削減に向けて、市内の事業者と協力するとともに、県と連携して啓発や情報提供を行います。

### 参考

#### 食品ロスについて・・・

- 食品ロスとは、「まだ食べられるのに捨てられる食べ物のこと」です。
- 食品ロス 632万トンのうち半分が家庭から出ています。また、飲食店から排出される食品ロスの6割がお客さんの食べ残しといわれています。
- 食品購入は必要な分だけにして、食品を無駄なく使い、家庭での食品ロスを減らしましょう。
- 福岡県では、懇親会等に乾杯後 30分と終了前 10分を離席せずに食べ残しを減らす「食べ残しをなくそう 30・10運動」について呼びかけています。

**食品ロスを減らそう!**

私たちに「できること」から始めよう

食品ロスとは、「まだ食べられるのに捨てられる食べ物のこと」です。

食品ロス632万トンのうち  
半分が家庭から出ている!

家庭での1人あたりの食品ロスは、  
年間で **約23kg** = **約170杯分** 廃棄されている

**家庭でできること**

- 買い物は必要に応じて
  - ・ 食品購入は必要な時に必要な量だけ!
  - ・ 買い物前には冷蔵庫をチェック!
- エコ・フッキング
  - ・ 食品を無駄なく使い切る!
  - ・ 余った料理は別の料理にアレンジ!

**30・10運動にご協力ください!**

宴会中に実践してください!

**残飯タイム** (宴会終了前30分)

残り30分、まだ食べられるものを減らしてください!

**飲みみタイム** (宴会終了後10分)

まだ、残飯を減らして食べ残しを減らしてください!

**食べきりタイム** (宴会終了後10分)

まだ、残飯を減らして食べ残しを減らしてください!

福岡県

資料：福岡県ホームページより

※1 リデュース:p.39 参照

※2 リユース:p.39 参照。





### ⑤ マイバッグ運動の推進、レジ袋有料化検討

- 九州統一マイバッグキャンペーン等と連携してレジ袋の削減を目的に、商工団体及び消費者団体と協働でマイバッグ運動の推進に努めます。

### ⑥ 廃食用油の活用

- 学校給食調理場等において3Rの推進という観点から、BDF（バイオディーゼル燃料）<sup>※1</sup>の原料である廃食用油を回収し、リサイクルを推進します。

### ⑦ 給食残さの堆肥化の推進

- 田川市の一部の学校で実施している生ごみリサイクルによる堆肥化の取り組みを、他の学校においても推進します。

### ⑧ 生ごみ処理機購入費の補助事業の推進

- 家庭の生ごみ処理機の普及促進のため、生ごみ処理機購入補助事業を継続します。

### ⑨ 家畜排泄物の適正な処理

- 畜産農家より排出される家畜排泄物の管理適正化と利用（無臭化、バイオマス資源化等）を促進するため、畜産業者やJA等が連携して計画的な処理施設の整備と家畜排泄物の管理を行うよう、啓発・指導します。
- 畜産に伴う悪臭等については、必要に応じ、関係機関と連携して対策を検討します。

※1 BDF（バイオディーゼル燃料）：菜種油・ひまわり油・大豆油・コーン油などの生物由来の油や、各種廃食用油（てんぷら油など）から作られる軽油代替燃料（ディーゼルエンジン用燃料）の総称。





## 2) 不法投棄対策の推進

### ① 不法投棄防止の普及・啓発

- 環境美化啓発看板の設置等を通して、不法投棄防止に関する普及・啓発に努めます。



不法投棄の状況（伊加利地区）

### ② 不法投棄の監視体制の充実

#### ②-1 監視体制の充実

- 警察や業務で市内を巡回している事業所（日本郵便、宅配業者、九州電力等）、行政等による不法投棄の監視について、連携体制の充実に努めます。

#### ②-2 市の監視員制度の設置検討

- 市独自の不法投棄監視員制度の設置を検討し、②-1の連携体制の中で不法投棄対策を推進します。

#### ②-3 不法投棄防止策の検討

- 福岡県不法投棄マッピングシステムを活用し、効果的な監視や早期対応を行います。
- 定期又は不定期に巡回活動を行い、未然防止策を強化します。
- ビデオカメラによる不法投棄箇所の監視を行います。

## 3) 産業廃棄物の適正処理、処分の促進

### ① 県と連携した監視指導の強化

- 産業廃棄物の適正処理については、法に基づく適正な処理、処分が原則であり、産業廃棄物排出業者や産業廃棄物処理業者の不適正処理を防止するため、県と連携して立入検査等による指導の強化に努めます。

### ② 農業用廃プラスチックの適正処理

- 施設園芸等により発生する農業用廃プラスチックやビニール類について、JAや県と連携して適正処理の指導に努めます。



## (2) 市民・事業者の取り組み

以下の様に「資源循環型まちづくり」における市民・事業者の取り組みを示します。

実施主体	取り組み
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別のルールを守りましょう。</li> <li>・家庭での食品ロスを減らしましょう。</li> <li>・外食時は食べ残しをしないようにしましょう。</li> <li>・マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにしましょう。</li> <li>・生ごみの水切りや堆肥化等により、ごみを減らしましょう。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物は法に従って適正に処理しましょう。</li> <li>・ごみの分別のルールを守りましょう。</li> <li>・福岡県食品ロス削減県民運動に協力しましょう。</li> <li>・エコマーク商品やリサイクル商品等、グリーン購入に努めましょう。</li> <li>・家畜排泄物や農業用廃プラスチックを適正に処理しましょう。</li> </ul>

## (3) 進捗指標と数値目標

進捗指標	現況値		目標値		備考
	現況年度	現況値	目標年度	目標値	
1人1日あたりのごみ総排出量	2015 (平成27) 年度	1,139g	2028 (平成40) 年度	10%減	現況値:福岡県における一般廃棄物処理の現況
「マイバッグなどの買い物袋を持参している」の実施率 <sup>※</sup>	2016 (平成28) 年度	76.7%	2028 (平成40) 年度	80%	現況値:2016(平成28)年実施の市民アンケート結果

※実施率は「いつも実行している」「ときどき実行している」と回答した人の割合

### 参考

アンケート調査結果より

#### ■「買い物袋を持参し、レジ袋は受け取らないようにしている」の実施率

